

委員会レポート

広報広聴常任委員会

概要
 町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

意見
 現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使えないという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。

議会だより及び議会報告会

概要
 議長を除く11人で構成される広報広聴委員会を設置。議会だより・議会インターネット録画配信のデジタル班と、高校生との意見交換やおしゃべりカフェ担当のアナログ班に分かれている。「議会だより」を「議会のおと」へタイトル変更。令和2年4月から議会モニター制度をスタートし、町内6地区から11名を選出。年4回のアンケートにあるモニターの声を大切に広報編集に反映させている。おしゃべりカフェは隔月20日に開催。気軽に話せる機会と評価されている。議会報告会は年に1回6地区で開催してきた。議員活動レポートを年1回発行し全戸配布。委員会活動報告をYouTubeで配信している。

令和6年度 町議会広報クリニックス
 議会広報ファシリテーターの越地真一郎氏を講師に「読む！質す！生かす！」反転・



グループワークの様子

一般会議の募集について

町政に関して、議員と意見交換をしませんか。

議会事務局（0242-62-5666）までお問い合わせください。

会津若松地方広域圏市町村整備組合



新ごみ焼却炉施設

令和7年2月議会定例会
 会津若松地方広域圏市町村圏整備組合議会定例会が2月5日から2月21日に行われました。

令和6年度一般会計補正予算が承認され、1・2億円が減額されました。

令和7年度一般会計予算は、179・2億円で承認され、主な支出は新ごみ焼却設備運営に110・8億円、消防費44・8億円です。労務費、資材価格高騰により、職員の特殊勤務手当や建設の工事請負系契約の一部が変更されました。今年8月完成予定のごみ焼却炉施設整備は、ほぼ計画どおり進行しています。

総務文教常任委員会

概要
 町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

意見
 現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使えないという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。

町ホームページの更新

概要
 町ホームページの更新は、9月末に委託契約の入札を行ったところ不調になってしまった。計画を見直し、新たな機能（AIチャットボット、オンライン申請、オンライン施設予約）の追加やデジタル田園都市国家構想交付金の活用などができないか県や町情報推進委員会と協議。予算を次年度に繰越し令和8年1月に新規公開したい。

意見
 現在の町ホームページは平成23年に運用が始まったもので、スマートフォン未対応であり、町民からは見づらく使えないという声がある。議会からも以前から意見してきたもので、期待が高まった。なお、掲載情報については、今後各課で確認、整理して「誰でも使いやすい町公式ホームページ」を基本方針に、デザインも含め全体的にリニューアルする。



現在の町ホームページ画面

応できていない。当初予算に計上し、実施を約束していた事業を次年度に先延ばししたことや、議会への経過説明がなかったことについては反省していただきたい。町ホームページは担当する総務課だけでなく、全課が協力し、若い世代の考えも聞いた上で、スピード重視で事業を進めていく必要がある。町民のためなのはもちろんのこと、町の顔として全国情報発信のための重要なツールである。

なお、AIチャットボット等の新機能については、本来に必要なか疑問がある。補助金要件とはいえ必要性について十分に検討されたい。

経済厚生常任委員会

概要
 婚活イベントを令和6年7月に遊覧船かめ丸船内を会場に、県と合同で開催した。終了後のアンケートでは22名中16名が「満足している」という回答だった。

意見
 不妊治療への相談を含め、子育て支援の産前産後のサポートをしていく。支援制度などの情報を、地区担当保健師が乳児家庭全戸へ訪問し提供している。令和6年度からLINEによる小児科産婦人科のオンライン相談サービスも実施している。

結婚サポートと子育て支援の現状

概要
 婚活イベントを令和6年7月に遊覧船かめ丸船内を会場に、県と合同で開催した。終了後のアンケートでは22名中16名が「満足している」という回答だった。

意見
 不妊治療への相談を含め、子育て支援の産前産後のサポートをしていく。支援制度などの情報を、地区担当保健師が乳児家庭全戸へ訪問し提供している。令和6年度からLINEによる小児科産婦人科のオンライン相談サービスも実施している。



昨年開催したイベントのチラシ

独自のイベントの開催を実施し、定期的なお知らせで、より効果的なサポートが実現できると感じる。

子育て支援の取り組みとして、時期にあった支援をしており、オンライン相談サービスや出産手当、おむつ券の配布は県内でも少ない支援策として他市町村との差別化ができていく。

今後は国からの遠方出産手当の助成の拡充の動向にも注視しながら、経済支援や相談サポートの充実を期待したい。

また、猪苗代の土地の価格は比較的抑えられており、住まいや就業を各種媒体でアピールすることで、より多くの若者世代に興味を持ってもらえることに繋がると考える。